

エンカウンター（ENCOUNTER）

第 48 号

平成 18 年 4 月 20 日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 045-912-1960

L・B・カウマン「山頂をめざして」より（3）

3月29日

生ける神のしもベダニエルよ、あなたが常に仕えている神はあなたを救って、ししの害を免れさせることができたか。

（ダニエル 6・20）

もしあなたが彼（生ける神）とともに歩み、彼を見上げ、彼からの助けを期待するならば、彼は決して、あなたを裏切られることはない。このことについて確信を持ちなさい。44年間主を知っていたある年長の兄弟が、主は決して自分を裏切られなかったという事について次のように書いているが、この言葉は、あなたにとって励ましとなることであろう。

「最大の困難の時において、最も激しい訓練の時において、貧窮のどん底において、彼は決して私を裏切らなかった。彼は恩寵によって神により頼む事ができるようにされたので、彼は常に私を助けるために現れて下さった。私は彼の御名をたたえることを喜ぶ」。

ジョージ・ミュラー

「神は...わたしたちを救い出してくださった、また救い出して下さるであろう。わたしたちは、神が今後も救い出して下さることを望んでいる」（第2コリント 1・10）

4月8日

しかし主を待ち望む者は新たなる力を得、鷲のように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。（イザヤ 40・31）

私たちの日常生活においても、...あわてて不幸を招くことがあり、遅れて益になることもある。朝起きてろくに祈ることもせず、一日の生活に飛び込む青年は、たとえすぐれた才能を持ち、非常に勤勉であったとしても、こわれた締め金具をつけた馬に乗って全速力で駆けているにすぎないのである。この上なく急ぎ、あわてているとき、また、きわめて危険な所を飛び越えるときに、締め金具がこわれているために落馬して、不面目にもちりにまみれるとしても、驚くにはあたらない。そして、たとえ初めに少しばかり遅れるとしても、完全に武装を整えて出発する隣人のほうが、賢明なのである。

大急ぎで聖書の一章を読んでも、みことばを携えて出て来ることはできない。それは、忍耐強く気長に読むことの報酬として与えられるものである。...「聖書を読む時、決して全速力で駆けてはならない。ゆっくりと歩いて行き、周囲を見回しなさい」。

時速5,60マイルの速度で飛ばして行く自動車運転手たちは、道ばたの花を見るであろうか。小鳥のさえずに耳を傾けるであろうか。また、雲の動きや、すべてが落ち着いて静まったときに初めて姿を現わすいろいろな優美なものを見るであろうか。

みことばの美は、敬けんに、ゆっくりと歩む魂に与えられる報酬なのである。もし私たちが猛進するならば、それを失ってしまうであろう！

4月24日

(彼は)エルサレムへ行こうと決意して、その方へ顔を向けられ
.....。(ルカ 9・51)

彼の確固たるまなざしは、険しい道を突き進もうとする決心を表わしている。彼はこの世界を一変させる選択をされた！

「何ものに対してもしりごみしてはならない」。これは、船が大波の中を苦闘しながら進んでいたとき、マクウォーリス船長が船員たちに与えた忠告であった。

「船を大波に向かわせよ。たとい人はどう言おうとも、大波は風によって引き起こされている。それに直面せよ。常にそれに直面せよ。それが乗り切る道である。君たちは若い船員だ。それに直面せよ。何びとにとっても、それで十分である。」

私たちの救いの船長は、エルサレム、ゲッセマネ、ゴルゴダのあらしに直面された。彼は、私たちにとって、忍耐と勝利の偉大な手本であられる。彼の模範にならい、聖霊の導きに従うことによって、臆病な者は勇敢な者とされ、しり込みしている者は強くなり、逃げ去ってしまっていたかもしれない者も自分の任務にしっかりとつかせられる。彼らは全世界を、面と向かって見つめ、いかなる敵も、いかなる敵意ある環境も、恐れないのである。

ジョン・マクベース M・A

風の吹くままに
漂流するような人生は、
決して港に着くことはない。
浮砂や砂州に着くだけだ。

5月2日

神は感謝すべきかな。神はいつもわたしたちをキリストの凱旋に伴い行き、……。
(第2コリント 2・14)

若い十字軍戦士達よ、あなたがたは、カルバリに通ずる狭い道を見るか。私たちの偉大な酋長であられるかたの血に染まった足跡を見るか。その足跡は勝利を意味している。その道だけが、冠と王座に通じているのである。先頭には、私たちの酋長なるかたが進んで行かれる。その後ろには、神の勇敢な兵士たちが密集し、隊伍を整えて従う。その道を歩む青年には、常に勝利がもたらされる。これまでも、常に勝利がもたらされたし、これから先も常にもたらされるのである。私たちは、古い、そまつな十字架に向かって行くのである。

正義の君なる 神の御子の
血にそむ御旗に つづくは誰ぞ。
悩みのさかずき おおしく受け、
十字架を負う者 その人なり。

(讚美歌 376)

5月7日

信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ
……。 (ヘブル 12・2)

あなた自身を見つめてはならない！ 自我に支配されてはならない。あなたは、自分自身の魂の絵を見つめることによって、自分自身を絶えず再生し続けることができるにすぎないのである。イエスを見つめなさい。彼を見つめるならば、あなたは栄光から栄光へと変えられるであろう。私たちのうちには、よいものは何もない。しかし、彼のうちには、神のすべての栄光と聖潔とがあるのだ！

5月12日

あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ、主はそれを成し遂げ
…。 (詩篇 37・5)

あなたは、日ごとに、あなたの船長であられるかたにお会いするのでなければ、キリスト者生活を送ることはできない。夜という二つの黒いカーテンにはさまれた日は、私たちのために定められた唯一の期間である。毎日、船長であられるかたに会いなさい。一日のうちに、会見のための時間を作り、あなたが、たやすく彼の御前に出ることのできる場所を持ちなさい！

私たちの偉大な船長なるかたは、時に、個々の戦闘において敗北されるように見えることがある。しかし、戦争において敗北されることは決してない！

私は自分の運命の支配者ではない。
私よりもっと賢明で、しかも有能な
おかたの御手の中に、それはあるのだ。
彼が私の横に立って下さるとき、
そのときだけ、私は自分の魂の船長である。

彼だけが、波の静かな航路を知られる。
私の小船は、そこを通過して
進まなければならない。
岩や浅瀬のありかは、私にはわからない。
しかし、彼の鋭い目にははっきりわかる。

私は自分自身の前進を計画できない。
彼がすべてのものを支配しておられる。
イエスこそ、私の運命の主
私の魂の水先案内、そして船長であられる。

5月13日

あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ、そうすれば主は働かれる。 (詩篇37・5 英訳)

主に信頼したいと願うこと、主に信頼しようと意図すること、あなたの必要とする祝福を得るために主に信頼しようと努力することと、単純に主に信頼し、すべてを任せきることとは全く別の事である。これは委任することである。それは、あなたの手紙をポストの中に落とすこと、その手紙の配達を郵便局にゆだねることである。いつまでも未練がましくその手紙のかどを持っていることではない。...

これと全く同様に、私たちも、ためらい、苦闘している。そしてついに、疲れ果てて、ゆだねる。そうすれば、神が私たちの上にみわざ　それがどのようなものであれ　をなさるのは、いともたやすい事となるのである。信仰の祈りとは、あなたがある特定の瞬間において解決し、それ以後は解決されているとみなさなければならぬ一つの処理である。

5月15日

ありのところへ行き、そのすることを見て、知恵を得よ。

(箴言 6・8)

大音楽家ルビンシテインは、かつてこう言った。

「もし私が一日練習をやめたならば、私がそれに気づく。もし2日やめたならば、私の友人がそれに気づく。もし3日やめたならば、大衆がそれに気づく。」

「練習する事によって完全となる」とは、古くからある原則である。私たちは信じ続け、祈り続け、みこころを行ない続けなければならない。技術のどのような分野においてであっても、もし誰かが練習を中止するならば、どのような結果がもたらされるか、それは私たちが知っている。

もし宗教の分野においても、私たちの日常生活におけると同程度に常識を働かすならば、私たちは完成を目ざして進み続けなければならないということがわかるであろう。

デーヴィッド・リヴィングストンのモットーは、「私は最後までやり通し、目的を達成するまでは決してやめない決心をした」という言葉に見られる。彼は断固とした執拗さと、神にある信仰によって征服したのであった。

5月22日

私たちの推薦状は、あなた方なのである。それは、私たちの心にしるされていて、すべての人に知られ、かつ読まれている。

(第2コリント 3・2)

最も価値ある生活

この世を最も益するのは、結局のところ、落ち着いた静かな生涯である。彼らは恒星のようである。定められた場所にとどまり、神の与えて下さる光をもって輝いているのである。流星は、素晴らしい輝きをもって大空を流れ下り、私たちは叫び声をあげて驚嘆する。しかし、流星が消えうせてしまったのちも、長く、恒星はなお輝き続け、私たちを導くのである。

自分の信仰を大声で叫ぶ必要はない。
静かな木、耳を澄ましている緑の芝ふ、
このほうが、私よりはるかに雄弁だ。
星は静かで、決して力を浪費しない。
丘は沈黙を守っている。
しかし、なんとすばらしく
神を語っていることだろうか。

チャールズ・ハンソン・タウネ

私たちが最も深い静けさと勇気を引き出すのは、必ずしも、最も忙しそうに、目に見える仕事をいつも追い求めている人々からではない。星のような生活を送っている人々　その輝かしい忠実な存在の光を、単純に私たちの上に注ぎ出している人々　からである。いかなる男女も、強い、親切な、善良な人によって助けられ、慰められるのでなければ、そのような徳を備えた人になることはできない。この事を知るのは私たちにとってよい事である。

フィリップス・ブルックス

5月23日

少しでも無駄にならないように、パンくずのあまりを集めなさい。

(ヨハネ 6・13)

永遠の問題は、断片的な時間にかかっている。「夏に集める者は賢明である」ということわざがある。青年は、たとえば言えば夏である。それは知識を集める時である。習慣を形成し、人格をつくり上げる時である。機会を活用する青年、勤勉に「冬のために夏に集める」青年は、のちに責任ある地位についたとき、それに対する準備ができており、りっぱに成し遂げることができるのである。

神の汚れのない子供として輝きたいと思う者は、年月を空費してはならない。彼らは、収穫の時を待たなければならないのである。人生のすべての賞品は、朝最も早く畑に出る者によって獲得される。音楽界において卓越している人は、幼い時からこの道に精進した人である。文筆の世界において傑出している人は、学校時代に頭を訓練した人である。信仰においてぬきんでている人は、その人生の春に天のビジョンに従順であった人である。

...神の賜物であるこの貴重な人生の断片的な時をむだにしないようにしよう！

高潔な人生とは

突然に得られた栄光のきらめきではない。

高潔な人生とは

力強いわざのなされた一日一日の集積だ。

私たちは皆、なんらかのひまな時間を持っている。...その時間をどのように用いるだろうか。目的なしに空費してはならない！時は、そのように空費するにはあまりに貴重である。...

「時は消え去ってゆく。そして、私たちの管理にゆだねられている！」